

## 平成28年度 第1回 静岡市スポーツ推進審議会会議録

- 1 日 時 平成28年6月28日（火）15時30分から17時00分まで
- 2 場 所 静岡市役所静岡庁舎 本館3階 第三委員会室
- 3 出席者 **【委員】**（50音順・敬称略）  
池谷孝、片岡佳美、北川知美、熊谷正泰、笹村直也、笹本とよ子、  
志田浩政、鳴海恵理子、松崎晃、村越真、百瀬容美子、山野良成、  
山本尚佳  
**【事務局】**  
豊後観光交流文化局次長、秋山健課長、  
鈴木章文課長補佐兼スポーツ振興係長、  
長澤主幹兼スポーツツーリズム推進係長、福井葵・駿河施設係長、  
松浦主幹兼清水施設係長、望月ホームタウン推進担当課長、  
本間万起子主査、佐藤主任主事
- 4 欠席者 青木秀剛、村田真一
- 5 傍聴者 なし
- 6 議 題  
（1）静岡市スポーツ推進計画について  
（2）静岡市スポーツ推進審議会における諮問について  
（3）「観る」スポーツを高める方策について（前回審議事項の報告）  
（4）スポーツ推進計画の進捗状況について  
（5）平成28年度の事業計画について
- 7 会議内容 下記のとおり

### 【概要】

#### 1 開会

- （1）会議成立（半数以上の出席により会議成立）
- （2）委員の委嘱  
・太田仁美委員、松下茂委員の退任に伴う、山野良成委員、志田浩正委員の委嘱
- （3）新任委員（2人）の自己紹介  
・山野良成委員、志田浩正委員
- （4）事務局の自己紹介
- （5）副会長の選出  
・委員の互選により、百瀬容美子委員が副会長に就任＜異議なし＞
- （6）情報公開  
・会議録は市のホームページに掲載、情報公開する＜異議なし＞

## 2 議事

### (1) 静岡市スポーツ推進計画について（説明）

#### ① 総合計画との関わり

- 第3次静岡市総合計画の成果目標：2025年に人口70万人を維持すること。
- スポーツは総合計画上、「観光交流」と「文化・スポーツ」の分野で位置づけられている。

#### ○各分野でのスポーツの関わり

##### <観光交流分野>

- 政策1 静岡のブランド力のある地域資源を活用した観光を推進します。
- 政策2 国内外からの誘客と交流を推進します。

##### <文化・スポーツ分野>

- 政策2 世界レベルの芸術文化・スポーツを楽しむ機会の拡大を推進します。
- 政策3 市民が芸術文化・スポーツを楽しむための支援を推進します。

#### ② 静岡市スポーツ推進計画の概要

##### ○静岡市第3次総合計画

- 前身であるスポーツ振興基本計画の検証を踏まえ、「人」に着目し、「する」「観る」「支える」という視点でスポーツを推進する。
- 「目標」は市民一人1スポーツ。「指標」は週1回以上のスポーツ実施率が成人の場合は68%、子どもの場合は83%。また、週3回以上実施する人の割合は成人で35%、子どもが50%と設定。

##### ○施策の6つの柱

- 1 スポーツツーリズムによるMICEの推進とスポーツ機会の向上
- 2 ホームタウン活動の推進
- 3 子どもの体力を向上させる機会の創出
- 4 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
- 5 マンパワーの養成・資質向上
- 6 スポーツ活動を推進するための支援

#### ③ 法律根拠、8年間のスケジュールについて

- スポーツ基本法、静岡市スポーツ推進審議会条例における審議会の位置づけ
- 8年間のスケジュール（委員の2年間の任期に合わせて）
  - ・ H27年4月～H29年7月 各施策の学習と検証
  - ・ H29年8月～H31年7月 中間検証に向けた調査内容の検討
  - ・ H31年8月～H33年7月 中間検証と新計画策定に向けた調査内容の検討
  - ・ H33年8月～H35年3月 調査結果の分析と新計画の策定

<委員からの質問、意見：特になし>

(2) 静岡市スポーツ推進審議会における諮問について（説明）

委員の2年に任期に応じて、教育委員会より諮問が出て、それに対する建議書を作成する。現在（平成27年10月9日）の諮問は「運動・スポーツ実施率の向上」。

前身である「静岡市スポーツ推進基本計画」では実施率の上昇が0.3%に留まり、運動・スポーツをしなかった理由としては「時間がない」「面倒くさい」が6割を占めた。「観る」「する」「支える」の視点で施策を循環させ、運動をしない人に働きかけ、実施率の向上の繋がる諸方策について提言を求める内容。

<委員からの質問、意見：特になし>

(3) 「観る」スポーツを高める方策について（前回のグループワークの報告）

① スポーツツーリズムによるMICEの推進とスポーツ機会の創出

～いかに人を市外から集めるか～

- ・交通機関やホテル業界など恩恵を受ける企業をコミットさせる
- ・オンリーワンのイベント企画
- ・スポーツ以外の付加価値
- ・効果的な情報発信

② ホームタウンチームに対する関心をいかに高めるか

- ・選手情報を積極的に提供する
- ・選手との距離を縮めるイベントが大事

(4) スポーツ推進計画の進捗状況について（説明）

スポーツ推進計画実施計画進捗状況調書に基づき、計画に位置付けられた100事業の実績及び5段階評価について説明。

<委員からの質問>

**【質問】** 達成度合が5段階だが、判断基準があいまいなので、成果に対してできれば数値で、誰からもわかるような判定をした方が良いのでは？

**【回答】** 次回以降は目標数値が明確なものについては達成割合を数値化し、5段階評価に当てはめる形としたい。

(5) 平成28年度の事業計画

スポーツ振興課の平成28年度予算について、事業目的・事業内容を説明。イベントはレクリエーションガイドで、所管施設は施設一覧表で補足説明。

<委員からの質問>

**【質問】** 城北運動場や有度山総合公園施設のシャワー室について、利用者数が少ないなど

いう印象（城北：118人/年、有度山：305人/年）。自分は汗を流して帰りたいと思うが、このようなものか？

【回答】利用後にシャワーで汗を流す方も居るが、施設まで車で来る方も多いため、そのまま浴びずに帰る方も多いのではないかとと思われる。

（6）今年度の審議会日程及び審議内容について（説明）

<委員からの質問、意見：特になし>

議事終了

<閉会>